



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月11日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東
 コード番号 5018 URL http://www.moresco.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤田 民生
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員管理本部長 (氏名) 作田 真一 TEL 078-303-9010
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日 配当支払開始予定日 平成25年11月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績（平成25年3月1日～平成25年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	11,046	10.5	763	59.0	897	62.8	536	69.7
25年2月期第2四半期	9,994	18.2	480	12.0	551	18.7	316	27.0

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 967百万円 (191.9%) 25年2月期第2四半期 331百万円 (33.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	62.08	—
25年2月期第2四半期	37.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	19,917	10,465	47.6
25年2月期	15,532	8,486	49.4

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 9,486百万円 25年2月期 7,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	12.50	—	12.50	25.00
26年2月期	—	12.50	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	17.50	30.00

(注) 平成26年2月期(予想) 年間配当金の内訳 普通配当 25.00円 記念配当 5.00円
 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,200	21.1	1,900	110.9	2,100	79.7	1,200	81.4	140.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー 社 （社名） 、除外 ー 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期2Q	9,668,000株	25年2月期	8,518,000株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	502株	25年2月期	502株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期2Q	8,633,531株	25年2月期2Q	8,517,505株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は平成25年10月21日に機関投資家・アナリスト向け説明会（東京）を開催する予定です。この説明会で配布する説明資料につきましては、平成25年10月18日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	10
(1) 製品およびサービスに関する情報	10
(2) 海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導による大規模な金融緩和政策や財政政策を背景に、円安や株価の上昇が進行し、景気は回復基調で推移しました。また、海外では、中国やタイ、インドネシアをはじめとする東南アジア諸国で堅調な経済成長が続いておりますが、東南アジアについては通貨安、株安等により先行き景気の下振れリスクが残っております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、中国、東南アジアを中心にダイカスト用油剤や難燃性作動液等の特殊潤滑油製品の売上高が増加し、インドネシアでは昨年生産を開始した紙おむつ用ホットメルト接着剤が売上高増に貢献しました。また利益面では、利益率の高いハードディスク表面潤滑剤の新製品が好調であったことや、為替の影響等により、前年同期を大きく上回る利益を確保することができました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,046百万円（前年同期比10.5%増）となり、経常利益は897百万円（前年同期比62.8%増）、四半期純利益は536百万円（前年同期比69.7%増）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

①日本

(特殊潤滑油)

自動車メーカーおよび自動車部品メーカーを主たる顧客とする、ダイカスト用油剤、切削油剤の売上高は、国内自動車生産台数の減少に伴い伸び悩みました。また、日華化学㈱から譲り受けた熱間鍛造潤滑剤が当第2四半期より寄与しておりますが、国内特殊潤滑油の売上高は前年同期にはおよびませんでした。

(合成潤滑油)

自動車用電装部品のベアリング軸受用グリースの基油として世界的にシェアが高い高温用合成潤滑油は、中国を中心とする自動車生産の伸びに支えられ、また、ハードディスク表面潤滑剤は、高性能新製品の採用が進み、どちらも過去最高の売上高を達成しました。

(素材)

流動パラフィンポリスチレン向けが需要の復調と新規ユーザー獲得により増加、リチウムイオン電池のセパレータ生産向けも中国への輸出増により堅調に推移し、前年同期の売上高を上回りました。また、金属加工油の添加剤として使用される石油スルホネートは北米への輸出増により売上高が好調に推移しました。

(ホットメルト接着剤)

主力である大人用紙おむつなどの衛生材向けや粘着剤、その他用途は前年同期並みの売上高で推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は9,113百万円（前年同期比1.7%増）となり、セグメント利益は、542百万円（前年同期比28.9%増）となりました。

②中国

中国では、国内の自動車生産台数が前年同期を上回り、ダイカスト用油剤、難燃性作動液、ホットメルト接着剤等が前年同期の売上高を大きく上回りました。

当セグメントの売上高は1,003百万円（前年同期比40.9%増）となり、セグメント利益は、80百万円（前年同期比65.1%増）となりました。

③東南アジア

タイでは、インドネシアでの特殊潤滑油の生産開始にともないインドネシアへの輸出が減少しておりましたが、タイ国内での切削油剤の売上が好調であったことに加え、日華化学㈱から譲り受けたダイカスト用油剤、熱間鍛造潤滑剤が寄与したため、売上高は前年同期を上回りました。

インドネシアでは、昨年10月から生産を開始した子供用紙おむつ向けホットメルト接着剤が順調に立ちあがると共に、ダイカスト用油剤や難燃性作動液等、特殊潤滑油の生産が拡大いたしました。

当セグメントの売上高は1,254百万円（前年同期比94.6%増）となり、セグメント利益は、106百万円（前年同期は6百万円のセグメント利益）となりました。

④北米

北米では、好調な自動車生産を背景に、自動車関連顧客の需要が順調に推移するとともに、ダイカスト用油剤等の新規ユーザーの獲得等により売上高が増加しました。また、高温環境下で使用する合成潤滑油の需要も着実に拡大、さらには日華化学㈱から譲り受けたダイカスト用油剤、熱間鍛造潤滑剤も売上高に貢献しました。

当セグメントの売上高は166百万円（前年同期比96.2%増）となり、セグメント利益は、9百万円（前年同期は8百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて4,386百万円増加し、19,917百万円となりました。主な要因は、新株式発行による現金及び預金の増加が1,489百万円、受取手形及び売掛金が956百万円、たな卸資産が342百万円増加したことと、日華化学㈱からの事業譲り受けによるのれんの増加が859百万円、投資その他の資産が543百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて2,406百万円増加し、9,453百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が635百万円、短期借入金が627百万円、長期借入金が966百万円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,979百万円増加し、10,465百万円となりました。主な要因は、新株式発行による資本金および資本剰余金の増加がそれぞれ565百万円、利益剰余金が430百万円、為替換算調整勘定が248百万円増加したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べて1,457百万円増加し、2,480百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは502百万円の収入（前年同期は124百万円の支出）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費の計上および仕入債務の増加等によるキャッシュ・イン・フローが売上債権の増加、たな卸資産の増加および法人税等の支払額等によるキャッシュ・アウト・フローを上回ったこと等によります。

投資活動によるキャッシュ・フローは1,652百万円の支出（前年同期は499百万円の支出）となりました。これは、事業譲受による支出等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは2,597百万円の収入（前年同期は342百万円の収入）となりました。これは、長期借入金の増加、短期借入金の増加および株式発行による収入等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年7月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,259,160	2,747,717
受取手形及び売掛金	4,653,959	5,610,318
商品及び製品	1,677,139	1,861,886
原材料及び貯蔵品	1,136,361	1,293,486
その他	353,953	421,716
貸倒引当金	△24,118	△37,460
流動資産合計	9,056,454	11,897,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,202,777	1,224,845
機械装置及び運搬具(純額)	929,897	941,369
土地	2,387,685	2,427,052
その他(純額)	316,816	339,646
有形固定資産合計	4,837,173	4,932,912
無形固定資産		
のれん	442,604	1,301,973
その他	141,585	188,257
無形固定資産合計	584,189	1,490,229
投資その他の資産	1,053,918	1,596,625
固定資産合計	6,475,280	8,019,766
資産合計	15,531,734	19,917,429

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,559,373	4,194,482
短期借入金	1,460,420	2,087,050
未払法人税等	91,321	158,680
賞与引当金	359,431	381,165
その他	571,788	740,164
流動負債合計	6,042,333	7,561,541
固定負債		
長期借入金	387,970	1,354,460
長期未払金	64,280	64,280
退職給付引当金	426,814	359,066
その他	124,798	113,202
固定負債合計	1,003,862	1,891,008
負債合計	7,046,195	9,452,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,525,928	2,090,578
資本剰余金	1,386,018	1,950,668
利益剰余金	4,706,188	5,135,726
自己株式	△328	△328
株主資本合計	7,617,807	9,176,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,884	33,533
為替換算調整勘定	27,520	275,388
その他の包括利益累計額合計	51,404	308,922
少数株主持分	816,328	979,314
純資産合計	8,485,538	10,464,880
負債純資産合計	15,531,734	19,917,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	9,994,378	11,046,467
売上原価	7,176,737	7,726,647
売上総利益	2,817,642	3,319,820
販売費及び一般管理費	2,337,865	2,557,009
営業利益	479,776	762,811
営業外収益		
受取利息	3,624	5,291
受取配当金	8,918	9,165
持分法による投資利益	49,533	72,744
為替差益	—	57,235
その他	38,565	21,763
営業外収益合計	100,640	166,198
営業外費用		
支払利息	12,709	13,113
為替差損	11,364	—
株式交付費	—	12,432
その他	5,328	6,496
営業外費用合計	29,401	32,040
経常利益	551,015	896,970
特別利益		
持分変動利益	7,885	—
特別利益合計	7,885	—
特別損失		
投資有価証券評価損	3,934	—
特別損失合計	3,934	—
税金等調整前四半期純利益	554,967	896,970
法人税、住民税及び事業税	111,572	181,078
法人税等調整額	106,345	88,377
法人税等合計	217,917	269,455
少数株主損益調整前四半期純利益	337,050	627,514
少数株主利益	21,122	91,508
四半期純利益	315,928	536,006

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	337,050	627,514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,773	10,187
為替換算調整勘定	2,316	278,052
持分法適用会社に対する持分相当額	3,794	51,574
その他の包括利益合計	△5,663	339,813
四半期包括利益	331,387	967,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	316,996	793,524
少数株主に係る四半期包括利益	14,391	173,803

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	554,967	896,970
減価償却費	298,880	273,499
持分法による投資損益(△は益)	△49,533	△72,744
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△77,239	△69,587
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,102	20,551
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13,339	12,196
受取利息及び受取配当金	△12,543	△14,457
支払利息	12,709	13,113
投資有価証券評価損益(△は益)	3,934	—
固定資産除却損	616	4,628
売上債権の増減額(△は増加)	△281,162	△842,988
たな卸資産の増減額(△は増加)	△230,005	△263,088
仕入債務の増減額(△は減少)	50,406	577,808
長期未払金の増減額(△は減少)	△63,414	—
その他	△88,927	△5,616
小計	117,454	530,284
利息及び配当金の受取額	20,781	92,926
利息の支払額	△12,240	△12,273
法人税等の支払額	△249,864	△117,416
法人税等の還付額	227	8,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	△123,642	501,522
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△113,760	△898
有形固定資産の取得による支出	△390,970	△169,059
無形固定資産の取得による支出	△8,920	△77,569
投資有価証券の取得による支出	△793	△1,005
貸付金の純増減額(△は増加)	△514	1,390
事業譲受による支出	—	△1,403,798
その他	15,476	△936
投資活動によるキャッシュ・フロー	△499,481	△1,651,875
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	430,000	350,000
長期借入れによる収入	—	1,400,000
長期借入金の返済による支出	△105,210	△156,880
配当金の支払額	△212,961	△106,460
少数株主への配当金の支払額	△8,916	△3,160
株式の発行による収入	—	1,129,300
少数株主からの払込みによる収入	255,805	—
その他	△16,377	△16,240
財務活動によるキャッシュ・フロー	342,341	2,596,560
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,849	18,988
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△272,933	1,465,195
現金及び現金同等物の期首残高	1,295,485	1,014,699
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,022,552	2,479,893

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,560,355	710,493	640,045	83,485	9,994,378	—	9,994,378
セグメント間の内部 売上高又は振替高	402,624	1,724	4,253	1,294	409,895	△409,895	—
計	8,962,979	712,217	644,299	84,779	10,404,274	△409,895	9,994,378
セグメント利益 又は損失(△)	420,283	48,589	6,411	△7,549	467,733	12,043	479,776

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額12,043千円には、セグメント間取引消去21,672千円、たな卸資産の調整額△9,835千円および貸倒引当金の調整額206千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,629,173	1,000,053	1,250,884	166,357	11,046,467	—	11,046,467
セグメント間の内部 売上高又は振替高	483,778	3,129	2,774	—	489,680	△489,680	—
計	9,112,951	1,003,182	1,253,658	166,357	11,536,148	△489,680	11,046,467
セグメント利益	541,648	80,223	106,216	9,144	737,231	25,580	762,811

(注) 1. セグメント利益の調整額25,580千円には、セグメント間取引消去26,706千円、たな卸資産の調整額△1,142千円および貸倒引当金の調整額17千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「日本」セグメントにおいて、日華化学㈱より国内外のダイカスト用油剤および熱間鍛造潤滑剤の製造・販売に関する事業を譲り受けております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては886,120千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年8月12日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式発行1,000,000株により、資本金および資本準備金がそれぞれ491,000千円増加しております。また、平成25年8月23日を払込期日とする有償第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式発行150,000株により、資本金および資本準備金がそれぞれ73,650千円増加しております。これらにより、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,090,578千円、資本準備金が1,950,668千円となっております。

4. 補足情報

(1) 製品およびサービスに関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日）

外部顧客への売上高	金額(千円)	前年同四半期比(%)
化学品事業	11,019,598	110.6
特殊潤滑油	4,865,202	109.1
合成潤滑油	1,163,134	130.8
素材	1,785,556	102.2
ホットメルト接着剤	2,619,649	115.6
その他	586,056	97.1
賃貸ビル事業	26,870	93.1
合計	11,046,467	110.5

(2) 海外売上高

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日）

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高（千円）	2,934,318	260,043	5,766	3,200,126
II. 連結売上高（千円）				11,046,467
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	26.6	2.4	0.0	29.0

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、シンガポール

北米……………米国

その他……………ベルギー

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。